

事業番号	320
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	IT教育推進事業(中学校)						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	教育総務課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	施設係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		1 教育を支える学習環境を整備する				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	3	目	1	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	生徒に対して、良好な情報通信技術教育ができる環境を提供する。									
	内容 (手段)	<p>情報通信技術教育を推進するため、リースによりパソコン教室用・校務支援用・教職員用・普通教室用のパソコンを整備(リース)した。保守に関して学校と業者の連絡、調整を行うとともにコンピュータ整備検討委員会(委員の構成:教職員、指導主事)を開催し、運営の検討を行った。</p> <p>平成24年度においては、教職員用のノートパソコンの補充を行った。 (直接経費の内訳) 電子計算機借上料 51,291,492円 コンピュータサポート委託料 34,440,525円 その他 5,555,025円</p> <p>平成25年度においては、パソコン教室、普通教室のパソコンの入れ替えを行う。 (直接経費の内訳) 電子計算機借上料 92,900,000円 コンピュータサポート委託料 35,700,000円 その他 6,268,000円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	106,075	106,290	91,287	134,868	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,599	1,599	1,599	1,599
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	107,674	107,889	92,886	136,467	
対前年比		%		100.1	86.0	146.9		
財源	一般財源	千円	107,674	107,889	92,886	136,467		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	パソコンの整備(リース)台数	台	目標	—	—	—
実績				953	970	1,022	
業	電子黒板台数	台	目標	—	—	—	—
			実績	9	9	9	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標	—	—	—	—
業	パソコンが利用できる生徒数	人	目標	—	—	—	—
			実績	4,305	4,458	4,577	
績	パソコンが利用できる教員数	人	目標	—	—	—	—
			実績	310	317	335	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	教育ネットワークやパソコン等の保守及びサポートを委託し、良好なICT教育環境を維持することができた。				
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育現場と連携し、文部科学省の学習指導要領に沿ったICT教育に必要なハード面の整備を行っていく必要がある。 ・機器更新にあたっては、効率的・効果的な機器の仕様等を研究するなど、常に経費削減に努める必要がある。 				
		事業を縮小・廃止したときの影響	ICT教育を行うことができず、また、教職員の各種校務が手作業となるため、学校運営が滞ることとなる。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	ICT教育を推進するには、機器のリースや更新、また、保守やサポートの委託が必要であり、多額の経費がかかるため、機器のスペックや構成等を研究する。デスクトップからノートタイプに変えたことにより教室内で移動が可能になり、授業の幅が拡大した。				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	校務が滞ることなく、良好なICT教育環境を維持する必要があるため、現状維持とした。					
	26年度以降の改善案	機器のリースの更新、サポートなどに多額の経費がかかることからコンピュータ整備検討委員会等や教育現場と連携を図り、今後のICT教育の推進に努めていく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。